

## 令和3年度 第2回八王子市多文化共生推進評議会 議事要点録

<b>開催方法</b>	オンライン会議による開催（オンラインでの出席ができない評議員は書面参加）
<b>開催日</b>	令和4年（2022年）1月28日（金） 午後6時00分～7時15分
<b>出席者</b>	森茂座長、遠藤評議員、岡林評議員、奥野評議員、河西評議員（書面）、館山評議員、ドミー評議員、花輪評議員、劉評議員（書面）
<b>欠席者</b>	シュレスタ評議員
<b>配布資料</b>	評議会次第 資料1 多文化共生推進プランの改訂について 資料2 市政モニターアンケート結果について 資料3-1、3-2 外国人市民アンケート結果について 資料4 令和4年度多文化共生推進事業に関する予算案について 資料5 令和3年度外国人留学生支援事業の進捗状況について

### 1. 多文化共生推進プランの改訂について

- ・提案内容の方向性が良いと思う。昨今、「多文化共生」「外国人支援」が注目され、報道等でも扱われることが増えてきた。市として多文化共生を推進するとなると、分野が多岐にわたると思うが、何かを大きく変化させるのではなく、ゆっくりかもしれないが、地道な取り組みを着実に進めていってほしいと思う。

### 2. 市政モニターアンケート・外国人市民アンケートの結果概要について

- ・外国人住民は、言語のこともあり、こういったアンケートに協力するのが難しい。サポートデスクで回答を手伝った外国人市民もいる。人に手伝ってもらってでも回答しようという意識を持っているのはうれしい。
- ・こういったアンケートで20%の回収率というのは、決して低い数字ではない。
- ・外国人住民に対して行われたアンケートで20%も回収できたのは価値があること。そして、そこで書かれた意見というのはとても貴重なものではないか。
- ・アンケート結果を見ると、市内のイベント等に参加はしていないが、興味のある人は多くいる。そういう人たちを取り込めるような取り組みを進めていけたら。

・日本語が話せても漢字が読めない人がいる。特に八王子市で生活するうえで覚えてほしい漢字（地名など）を周知するのもいいと思う。

・好意的な内容の回答に偏っているのが気になる。

・アンケートで「困っていること」を聞いている。困りごとがある人たちに、今後こういった方向の支援を考えているのか。

**【事務局の回答】**

個別の案件ごとに、市ですぐにどうにかするというのは難しい。市としては、まず外国人サポートデスクを中心とした相談事業の周知が重要だと考えている。外国人サポートデスクから適切な窓口・支援制度に確実につないでいく。地道かもしれないが、まずは相談するところを知ってもらうということが、やらなければならないことだと考える。

・企業はそれぞれ求める人材像があり、外国人の就労については、どうしてもマッチングが難しくなってしまう場合がある。特に中小企業で多言語対応などは難しい部分があるのでは。

・外国人市民に制度などを知ってもらうことはもちろん、日本人にも八王子市のいろいろな取り組みをもっと知ってほしい。偏見・差別の減少につながると思う。

### 3. 令和4年度多文化共生推進事業に関する予算案について

・外国人住民の孤立が非常に大きな問題だと考える。困ったときに近くに頼れる人がいない、声を掛けられる人がいない。そういう人たちのために、繋がりのお機会・場を作っていくことが大事なのではないか。そういった活動を地域で行っている団体を支援する、アドバイスするような、「支援している人を支援する」という取り組みが必要だと思う。

**【事務局の回答】**

市では、協働推進課を中心に地域活動団体や団体による企画事業への支援を行っている。積極的に情報提供していきたい。

### 4. 令和3年度外国人留学生支援事業の進捗状況について

・日本語学校の学生への対象拡大は良かった。効果が実績として出ていると思う。